

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 首里きらめき | | 公表日 | | 令和7年 4月 1日 | |
|---------|--------|---|-----|---------|---|------------------------------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | | ・利用児が多い場合には少しだけ狭く感じる ・特異的に過ごしたい空間を選択してもらっている。 | ・利用者様の意見を尊重し、過ごしたい空間を選択してもらう。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 3 | ・常勤の男性職員を増やしてい欲しい ・常勤の男性職員が足りない ・男子職員が特に必要です ・男性職員を増やすことが必要 ・全介助の児童が多い為、利用児が多い場合には車椅子に乗せたままの対応になってしまう ・同性介助を徹底したいが、男児の生活介護を女性職員で対応している | ・職員の意見を大事にし、今後の人員配置の参考にしたいと思います |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8 | | ・窓に転落、飛び出し防止柵、壁にウォールクッション設置 | ・危険個所の改善に取り組み、安全安心の空間を提供できていると思います |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | | ・日々、危険個所と消毒個所のチェックを行い、居心地の良い空間を提供しています | ・清潔感を重視し、心地よい環境づくりできるよう配慮しています |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 1 | ・クールダウン用の部屋・スペースがない | ・空間の使い方を見直したいと思います |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 2 | ・1年間で前期後期で目標を振り返り、見直しを行っている | ・継続し、職員間で認識を深めます |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 1 | ・ホームページに公開している | ・継続し、理解につなげます |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | ・事業所会議で職員一人一人の意見を出す機会を設けている | ・継続します |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 5 | ・第三者ではなく、法人内の社内監査を行っている | ・法人で検討します |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 1 | ・月に一度、動画研修を設けている | ・継続したいと思います ・全員が受けられるよう徹底したい |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | ・月間の活動プログラム表にて公開しています | ・継続します |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | | ・日々の引継ぎ時やモニタリング時期に合わせ、担当者会議にて確認させて頂いています | ・継続します |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | ・モニタリング時期に合わせ、担当者会議にて確認させて頂いています | ・継続します |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 2 | ・活動プログラムに沿った活動をしていない職員もいる為、必要性を話し合う ・事業所内のケース会議にて共有しています | ・支援の意義をしっかりと共有します |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 1 | ・日々、児童の成長、変化を確認し合っています | ・支援の意義をしっかりと共有します |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|---|-------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | ・個別支援計画書に掲載し、成長に応じて適切な支援を提供できるよう心掛けています | ・継続します |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | ・チームで検討し、週案活動計画表で共有しています | ・継続します |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | ・工夫はしているが、児童によってはこだわりが強く同じ活動になってしまう ・特に力を入れており、様々な特性に合わせたプログラムを提案しています | ・継続します |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 1 | ・こどもの日々の状態、スケジュールに沿い集団活動と個別活動を日々提供しています | ・余暇時間も充実できるようひとりひとりにあった支援を提供していきます |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 2 | ・常勤同士で共有し、パートナー職員には出勤後口頭にて共有 | ・異なる出勤時間があっても、日々職員同士で共有していく |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 6 | ・業務終了後すぐの振り返りが難しいが翌日の朝礼などで話し合えば良い ・出勤時間・退勤時間が異なることが多々ある為、申し送り帳にて情報共有している | ・異なる退勤時間でも共有できるよう工夫していく |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | ・リーダー制を取り入れ、当日のうちに記録を入力徹底 | ・継続します |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 8 | | ・1年間で前期後期で目標を振り返り、見直しを行っている | ・継続します |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 8 | | ・ガイドラインに沿い、複数の活動を取り入れています | ・継続します |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | ・発語のない児童や意思表示の苦手な児童においても様々なコミュニケーション方法を用いて、意思決定支援を行っています | ・継続します | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | ・現場で児童と関わる児童発達支援管理責任者の会議参加を徹底しています | ・継続します |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 1 | ・いつでも対応できるよう心掛けています | ・連携し得た情報は職員間の共有も徹底します |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | ・できるだけ年度初めに共有できるよう協力をお願いしています | ・継続します |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | 2 | ・利用契約前後に担当者会議を開くよう協力を求めています | ・連携し得た情報は職員間の共有も徹底します |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 8 | | ・卒業前に担当者会議を開くよう協力を求めています | ・継続します |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 5 | 3 | ・法人全体で相談できるスーパーバイズを設けています | ・連携し得た情報は職員間の共有も徹底します |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 4 | ・コロナ感染症の影響もあり交流していない | ・時間帯が合わず交流はなかなか難しいが積極的に働きかけていきたい |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 5 | ・市内の協議会に参加しています | ・連携し得た情報は職員間の共有も徹底します |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | ・日々の送迎時を活用し、保護者さまと情報共有させて頂いています | ・家庭や学校との情報共有を大切にし、課題に沿って足並みを揃えていきたい |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|----|--|---|---|---|---|
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 5 | ・ご利用契約時に説明させて頂いています | ・肢体不自由児の預かりが多く、家族の気持ちにゆとりがなければ提供はなかなか難しいと思うので、最適な日時のアンケートを取り研修などの機会を設けていきたいと思う。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 1 | ・ご利用契約時に説明させて頂いています | ・管理者のみ把握しているので、職員にも共有していきます |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 1 | ・日々の送迎時、モニタリング、担当者会議にて意向の聞き取りをさせて頂いています | ・管理者のみ把握しているので、職員にも共有していきます |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | ・保護者様に直接確認させて頂いています | ・継続します |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | ・相談に応じて、面談や直接お話しする機会を設けています | ・継続します |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 6 | ・肢体不自由児の預かりが多く、家族の気持ちにゆとりがなければ提供はなかなか難しいと思うので、最適な日時のアンケートを取り研修などの機会を設けていきたいと思う。 | ・今後やってみたいが、家族の気持ちのゆとりや職員の配置人数など課題はたくさんあるので考えていきたい |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | ・ご意見を頂いたら、即、真摯に対応いたします | ・継続します |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 1 | ・活動プログラムに掲載、またはSNSにて活動状況をお知らせさせて頂いています | ・毎月のプログラム表以外にも、ホームページの更新も頻回に行います |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | ・厳重にお取り扱いしています | ・継続します |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | ・日々、児童の成長、変化を確認し合っています。 | ・継続します |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 5 | ・事業所の行事に招待することはできてないが、地域まちづくり協議会の参加でいつでも協力できる体制は取っている | 機会があれば積極的に企画していきたい |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | | 防災訓練を通して、職員とご家族様に情報共有している | ・継続します |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | 業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害発生に備えています | ・継続します |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 8 | | 常にアセスメントを取っています | ・継続します |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | | 常にアセスメントを取っています | ・継続します |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | | ・研修や報告書を基に、予測不能なごまが必要な措置を検討しています | ・継続します |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 2 | ・防災訓練時にSNS発信を実施しています | ・避難場所のお知らせや画像なども添付し、周知させていきたい |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 1 | ・記録は必須で事業所内または法人内で共有しています | ・ヒヤリハット事案がないよう日々心掛けていきたい |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | ・徹底しています | ・継続します |

| | | | | | |
|----|--|---|--|------------------|--------|
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 8 | | ・研修にて共通意識を持っています | ・継続します |
|----|--|---|--|------------------|--------|